

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
1	創作和太鼓集団 火ノ丸	火ノ丸	和太鼓を通して街づくりや子どもの健全育成、芸能文化に触れる事を目的に、毎週日曜日、元気一杯、和太鼓の練習をしています。年に数回盆踊り会場、老人ホーム施設、秋祭り等、ボランティアで時と場所に応じた太鼓演奏活動をしています。また、海外研修生と太鼓を通じての交流会も実施し、参加した方々に大変喜んで頂きました。
2	milin (みりん)	milinおまかせ仕上げ 手がよごれない！パステル手形アート	手がよごれない！パステル手形アート。あかちゃんも安心の専用クリームを使用して手や足をよごさずに、手形足形をとってかわいいアートに仕上げます♪
3	愛石クラブとよた	日本古来の自然である石文化の普及。年齢を問わない市民各層のクオリティ、生活の質向上に貢献。豊田市の河川、山の自然、石の探石会と室内鑑賞石展作品の石展開催。豊田市文化発展、振興に寄与する活動。	日本の伝統文化である自然石文化の魅力や地元豊田市で、採取した自然石の展示会を、定期的に行い台座作りのワークショップを実施しています。
4	和出真由美	心と体のトータルアシストGlanz	心と体のトータルアシストGlanz。豊田市民の健康を足元から支え活性！をスローガンに、マンツーマンでサロンにてお客様に対応。エナジーセラピー・よもぎ温熱セラピー・カードセラピーを活用し、お客様本人が気付いていない無自覚な不調を独自の手法で読み取り調整し、心と体の活力を高めています。豊田市で行われる"マルシェ"や"みらい塾"や"WE LOVEとよた"など毎年各種参加活動中。
5	ぷらっと	ぷらっとフェスタ	4人メンバーが3色(個性)のつなぎを着て活動中。年齢、性別、職業、障害の有無に関係なく、多くの方が気軽に参加でき、顔と顔を見てつながる場所と時間をつくることで、人と人の輪を地域全体に、広げて行きたいと活動してます！地域でのイベントへの参加、“ぷらっとフェスタ”の開催を行っています。
6	LIVE COLLE	LIVE COLLE -暮らしの知りたい10のこと-	豊田の女性起業家が、より活躍できるように応援する活動をしています。マルシェを開催することによって、起業家とサービスを必要としている人とがつながる手助けをしています。『暮らしの知りたい9のこと』をテーマに、知って得すること・買ってうれしいモノを発見していただくマルシェを開催しています。
7	いなぶ健康アカデミー	すくすく生き生き健康教室	いなぶ健康アカデミーは、人口約50%が64歳以上である超高齢社会の稲武の町と住民の健康を守るボランティア団体。理学療法士、看護師、言語聴覚士の三人が、専門職の知識を生かし、住民の健康維持増進、すくすく生き生き健康教室を展開しています。稲武の高齢者に健康への関心や体が変わることへの楽しさを知ってもらおうと同時に、交流の場にもなっています。また、中学校のテニス部や名城大学での講演、介護予防自主グループや設楽町、長野県根羽村での健康教室等、活動が広がっています。今後も地域住民の健康を第一に考えて活動することで町を守っていきます。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
8	親子コミュケの会	子供も一緒にクラシックコンサート、ベビー・キッズピクス、親子フィットネス、ベビーとママのフラダンス、食育講座、食育調理実習、冬休み書初め応援講座、サイエンスクッキング、男性保育師とあそぼう、パパ交流会などを開催。	子ども達が健やかに成長できるよう子育ての不安やあせりを緩和し、いじめや虐待が少なくなるよう子どもが嫌いな大人を減らしていき、子育てしやすい社会になることを目的に、豊田市の子育て世帯と人、事をつなぐ活動をしています。子供も一緒にクラシックコンサート、ベビー・キッズピクス、親子フィットネス、ベビーとママのフラダンス、食育講座、食育調理実習、冬休み書初め応援講座、サイエンスクッキング、男性保育師とあそぼう、パパ交流会などを開催。
9	音読サークル すみれ	「戦争を語り引き継ぐ会」 他 こども園、ディーサービスにて読み語りなど。	戦争を語り引き継ぐ会、子ども園、ディサービスなどで、幼児の絵本を中心に童謡や手遊び、歌遊びなど取り入れることで、大人も子どもも楽しめる読み語りを行っています。子ども達を対象に、作品を選んで読み語りや群読の練習をしており、発声など基本の練習を大切に、会員相互のレベルアップを目指しています。
10	イルチブレインヨガ豊田スタジオ	豊田happy blain CLUB	豊田happy blain CLUB。豊田市民が、ありのままの自分を愛し、地域で活かされる、いきいき明るいハッピーブレインシティーにすることが活動の目的です。自分の体に気付くブレイン体操、自分を大事にする時間・ブレイン瞑想、自分の健康を守るブレインヒーリングを通して、こどもから高齢者まで年齢を超えて、自分の価値を感じるとき、そのエネルギーが家族、地域社会、地球の未来に繋がります。
11	とよた学生盛りあげ隊	とよた学生盛りあげ隊	豊田市を盛り上げたい！！熱い思いをもった学生が集まり、様々な活動の企画運営を行っています。ラグビーPR活動、カフェとのコラボ（メニュー・MAPの作成）、ガーデニングミュージアムでのイベント、参考書を次の世代に繋ぐPASS THE NOTE等。主な活動は、月に1回の定例会！私達がフレッシュな風を豊田に吹かせます！
12	七州城城下町まちづくり協議会	拳母の歴史紹介、保護、保存の活動	拳母の歴史紹介、保護、保存を行う活動団体。拳母藩の歴史に関わる資料を発見、保管の他、市内外の小学生や地域団体にむけて、山車蔵や展示館、史跡のガイドボランティアもしています。
13	松平宝さがし実行委員会	松平の魅力発信と魅力をより感じるためのイベント開催	松平の魅力発信と魅力をより感じるためのイベントを開催。とよたまちさとミライ塾などで実施しています。
14	アート維新	豊田市で活動するアーティストやアートを取り入れたイベント開催、企画	豊田市で活動するアーティストやアートを取り入れたイベント開催、企画。アートイベントを行う中で、地域素材を使った作品制作等、アートに関わる人たちが社会にどう関わっていくかの研究などを行なっています。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
15	monrêve	ハーバリウム体験	豊田市松平サロン市場を中心に「ハーバリウム体験」の活動をしています。小さなお子様から年配の方まで体験いただく中で、年齢を問わず和やかな会話がはずみ、楽しんでいます。敬老会や婦人会、子供会などでも活動しています。
16	民芸の森倶楽部	初夏、森の手ざわり、観月会、ボランティアガイド、竹灯ろう作りなど	豊田市平戸倍の「民芸の森」において名誉市民である本多静雄氏の業績や生涯を紙芝居として上演したり、会場内で「森の手ざわり」「観月会」などのイベントを開催したり、ボランティアガイド、竹灯ろう作りなどのワークショップも定期的実施しています。
17	キッズプランナー	子育て支援・子どもの居場所づくり	ひとりぼっちの子育てからみんなで集う子育てができるよう、みんなで一緒に子育てできる環境づくりをしています。
18	一級建築士 風とガレ	まだまだあるぜ!!豊田市の魅力ある日本建築物	豊田市にはまだまだ知られていない先人の知恵や工夫そして職人技など魅力ある日本建築が残っています。それを見つけ出して多くの人たちに知ってもらおう活動をしています。
19	家下川リバーキーパーズ	川遊びと魚が住める川づくり	豊田市南部を流れる矢作川の支流「家下川」。多くの生きものが生息する家下川の生きもの棲みやすい環境づくりや川遊びを通しての環境保全を行っています。
20	靴磨屋T.A.N.S TOYOTA-BRANCH	靴磨屋	豊田市コモスクエアWEST OFエントランス内にて靴磨屋をオープン。豊田市民はもちろん、市外から来られた方の足元のオシャレ度を上げ、豊田市の靴磨屋を再認識してもらえるよう、オーダーシューズ職人をやりながら靴磨職人に新たにチャレンジしています。
21	山川良雄	わくわく7やマジックゼロで子どもたちや高齢者に幸せを届けています。	マジックや読み聞かせ、手づくりおもちゃで、豊田市内のこども園、小中学校、高齢者福祉施設等を訪問し、幸せを届ける活動をしています。
22	内田良平	矢作川感謝祭実行委員長	矢作川感謝祭実行委員長。矢作川流域のつながりのおもしろさを伝えるべく、東奔西走。身を粉にし、尽力を尽くしました。たくさんの市民から賞賛の嵐!!
23	矢作川水族館	豊田市を流れる矢作川の実力と魅力を伝えます。	子どもたちや親に矢作川のおもしろさを伝えるために「川遊びの会」をしたり、街なかなどでのイベント時に水槽展示することで川の生き物を紹介しています。
24	御内若嫁会	とよたまちさとミライ塾 御内夏祭り	御内夏祭りをとよたまちさとミライ塾にて、御内の良さ、住人の温かさが伝わる魅力あるおもてなしプログラムを地域の方々と一緒に実施。御内の農作物等の産直市場、得意な田舎料理の紹介、御内の綺麗な川や山への案内等、住民の得意な部分で御内をアピールします。御内にまた遊びに來たいと思っ下さる方々を増やすことで、高齢化する御内住民が御内にとっての当たり前が、いかに素敵でとても価値があることを実感し、御内を活気ある里山にする活動。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
25	しもやまラリーイベント 実行委員会	セントラルラリー愛知／岐阜2019三河湖S Sおもてなしイベント	WRC開催に向けたテストイベントであるセントラルラリー愛知／岐阜2019三河湖S S(下山地区)でのおもてなしイベントの開催や2019年以降の下山でのWRC受け入れに関する地元盛り上げ、観客へのおもてなし体制の整備。
26	ラグベア	ラグビーのPR及び普及活動。ラグビーワールドカップ非公式キャラクターとして活躍。	クマの着ぐるみで、ラグビーのPR及び普及活動。ラグビーワールドカップ非公式キャラクターとして市内の様々なイベントに自ら参加し、ボランティア&ノーサイドの精神を大事に子供からお年寄りまでファンをどんどん増やしていきました。
27	豊田文化団体協議会	おいでんアートおもてなしフェア	おいでんアートおもてなしフェアの開催。ラグビーワールドカップの豊田市での試合開催日9月23日、28日、10月5日の3日間、豊田市教育委員会、(公団)豊田市文化振興財団と共催し、豊田の伝統文化、芸能を体感できる110のプログラムを延べ加盟76団体(個人含む)によって企画・実施し11699人の国内外の方々に来場いただき、豊田の文化を発信し、豊田のまちを楽しんでいただきました。
28	とよた下町おかみさん会	とよた下町おかみさん会	毎月第一金曜日の朝実施している豊田市駅周辺のごみ拾い、吸い殻拾いのクリーンアップ活動や、豊田マラソン開催時に来街者、参加者へお汁粉の振る舞いを行うなど、下町商業者の「おかみさん」としてこれからの豊田らしさと自らが住む下町の「まちづかい」を考え、また異業種間の交流によるコラボレーションや新しい発想を生かし、中心市街地の発展やまちづくりに貢献しています。
29	MXFIELD TOYOTA 代表: 小林義松、小林謙二	モトクロス運営、公式競技や草レースの開催、初心者講習会の主催等 オフロードバイクの普及活動	地元で約50年にわたり運営されている全国的に人気のモトクロスコース。週末には他府県からも大勢のライダーが集まるオフロードライダーの間では全国的にも知らない者はいないほどの人気コースです。走行して面白いだけでなく、元ヤマハのワークスライダーである小林謙二氏監修により利用者の安全への配慮が非常に行き届いていることや、運営者の小林兄弟の地域貢献意識の高さも人気の要因です。中部モトクロス選手権開催、初心者向けの走行講習会、中級者向けの草レースなどを毎月開催しています。
30	Active People	WE LOVEとよたフェスタ	WE LOVEとよたフェスタで若者や親子を対象とした、イベントの企画開催やブース出店
31	ユースクラブ	WE LOVEとよたフェスタ	WE LOVEとよたフェスタで若者、親子を対象としたイベントの企画運営。婚活事業の企画運営。
32	にじのかい	園、小学校、中学校で外部講師を招き、性の講座を開催する手助けをしています。	豊南地区わくわく事業の補助を受け、園、小学校、中学校、地域で講師を招き性の講座を開催しています。性被害に合わないために、学校では教えてない、正しい性教育が必要であり、自分のカラダや成長を受け入れ、性感染や、望まない妊娠を防ぐことが大事だと考え講師を呼んで学ぶ場を増やしています。性の話は世界基準で3歳から遅くとも4歳までといわれており、親子での教育が大切で、幼い子には 人には大事なプライベートゾーンというものがあると 伝えています。また、家族から友だち そして地域の人へ 性と科学の話が正しく広がるように活動をしています。

No.	個人または団体名	活動概要	具体的な活動内容
33	NPO法人稲武まちづくり協議会	雪み街道いなぶ～魅・美・見・味～ 雪や氷で作った灯籠にあかりを灯し、幻想的な風景と温かい汁物で身も心も温まるイベント。	雪み街道いなぶ～魅・美・見・味～ 雪や氷で作った灯籠にあかりを灯し、幻想的な風景と温かい汁物で身も心も温まるイベント。雪み街道の「み」には、魅力的・美しい・見る・味わうといった意味を含みます。寒さを逆手に稲武の魅力を発信すべく稲武在住の若者たちが考えたイベント。雪灯籠の幻想的な風景と地元の商店が腕を競う汁-1グランプリの開催で稲武の冬の風物詩となっています。暖冬のなか、主体となったNPO法人稲武まちづくり協議会のメンバーの底力で県境にまで雪を求めて開催にこぎつけました。また、子供たちへの働きかけで小学校の畑で作った自然薯が汁-1グランプリに出店し、入賞するなど稲武地区全体で楽しんでいます。
34	いなぶ旧暦のひな祭り実行委員会	いなぶ旧暦のひな祭り～どんぐり工房福よせ村のチャンピオンピック～	いなぶ旧暦のひな祭り～どんぐり工房福よせ村のチャンピオンピック～ 冬季の誘客を図るべく、ひな祭りイベントを実施。お役目を終えた（飾られることがなくなり捨てられてしまう）お雛様を寄付していただき、副よせ村の住民として迎え、第1の人生？を自由気ままに過ごしてもらうというスタイルで展示をしている。毎年テーマを設けて展示をするが、躍動感のある雛人形の表情が来館者には、ほんわか温かい気持ちを持って伝えてくれて、稲武の魅力発信の一助となっています。